

## 平成26年度事業の執行状況 (H27.3.31)

### 1 障害者スポーツ大会の開催支援

#### (1) 第8回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」選考会に位置づけ実施した。

開催期日	競技名	対象	開催場所	参加選手数
5月16日 (金)	卓球	精神障害者	県立障害者スポーツ交流館	78人
5月17日 (土)	卓球	身体・知的障害者	県立障害者スポーツ交流館	156人
	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	三木防災公園	388人
5月18日 (日)	水泳	身体・知的障害者	三木山総合公園	153人
5月24日 (土)	陸上競技	身体・知的障害者	三木防災公園	786人
	ソフトボール	知的障害者	三木防災公園	91人
	サッカー	知的障害者	三木防災公園	214人
5月25日 (日)	バスケットボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館	37人
	バレーボール	知的障害者	県立障害者スポーツ交流館	55人
	ボウリング	知的障害者	神戸六甲ボウル	91人
6月6日 (金)	サウンドテーブルテニス	視覚障害者	県立障害者スポーツ交流館	52人
11月21日 (金)	バレーボール	精神障害者	グリーンアリーナ神戸	104人
合 計				2,205人

※ 4月29日(祝・火)の車いす使用者 陸上、フライングディスクは雨天中止となったが、5月24日(日)、6月8日(日)に記録会を実施、全国大会派遣選手選考の参考とした。

#### (2) 第26回全国車いすマラソン大会の開催

全国から参加者を募集し、篠山城跡マラソンコース(日本陸連公認コース)を利用して車いすマラソン大会(フルマラソン及びハーフマラソン)を開催した。シニア選手の参加が多いことから、シニア部門の表彰区分を50歳以上59歳未満の「シニア1」、60歳以上の「シニア2」に分類(従来1本)した。シニア2の選手が18人出走。全出走選手97人のうち全体の約2割を占めた。

- ・開催日 平成26年9月28日(日)
- ・開催場所 篠山城跡マラソンコース(篠山市)
- ・参加者 選手97名出走、87人完走、競技役員・ボランティア約900名

#### (3) 競技別の県大会開催支援事業

団体が主催する競技大会及び練習会開催経費の一部を助成するとともに、大会情報発信の充実により競技人口の拡大や競技団体の競技力向上を図った。

- ・助成団体 21団体
- ・助成額 定額補助(上限80千円)

## 2 全国大会等への選手派遣支援

### (1) 第14回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会への選手派遣

第14回全国障害者スポーツ大会に派遣する近畿ブロック代表チーム（団体競技）を決定する下記の近畿地区予選会に兵庫県チームを派遣した。

競技種目	開催日	会場
車椅子バスケットボール（身体）	平成26年5月25日（日）	大阪市
バスケットボール（知的男子・女子）	平成26年6月8日（日）	京都府
バレーボール（聴覚男子・女子）	平成26年6月8日（日）	大阪市
バレーボール（知的男子・女子）	平成26年6月22日（日）	和歌山県
バレーボール（精神）	平成26年6月14日（土）	滋賀県
フットベースボール（知的）	平成26年6月22日（日）	和歌山県
グランドソフトボール（視覚）	平成26年5月25日（日）	大阪市
ソフトボール（知的）	平成26年6月1日（日）	堺市
サッカー（知的）	平成26年5月31日（土）	兵庫県

### (2) 第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」への選手派遣

長崎県で開催された第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」に兵庫県選手団を派遣した。陸上で身体女子100m、200m（いずれも車いす）など4種目、水泳で知的男子25m自由形で大会新記録が樹立され、車椅子バスケットボール及び知的女子バレーボールが優勝を果たした。

- ・大会期間 平成26年11月1日（土）～3日（祝・月）
- ・派遣期間 平成26年10月31日（金）～11月4日（火）
- ・開催場所 県立総合運動公園（諫早市）
- ・派遣人数 個人競技、団体競技選手計102名、役員58名  
（団体競技：車椅子バスケットボール、知的男女バレーボール、聴覚男子バレーボール）  
獲得メダル数：個人競技 金21、銀13、銅14  
団体競技 金2  
（全国順位：都道府県8位（神戸市含む。前年10位））

### (3) 第26回全国車いす駅伝競走大会への選手派遣

京都市で開催された第26回全国車いす駅伝競走大会に兵庫県選手団を派遣した。

- ・開催日 平成27年3月8日
- ・開催場所 西京極運動公園マラソンコース（京都市）

### (4) 競技別の全国大会派遣経費支援事業

競技団体の競技力向上等を図るために、団体が派遣する全国大会の派遣費用の一部を助成した。

- ・助成団体 22団体
- ・助成額 定額補助（上限60千円）

### 3 障害者スポーツ振興事業

#### (1) 障害者スポーツ普及・育成事業

県内のプロスポーツや企業スポーツチームやパラリンピック出場アスリート、一般競技団体指導者等の参画を得て、障害者スポーツの普及と選手育成を図るために実施する練習会、教室等に対し経費の一部を助成した。

- ・助成団体 2 団体
- ・助成額 上限 200 千円（対象経費：派遣経費、会場使用料等）

#### (2) 障害者スポーツ奨励事業

障害者スポーツの振興に有意義な研究会の開催や指導者・ボランティアの資質向上のための研修会、競技力向上のための審判講習会等の事業に対して、経費の一部を助成した。

- ・助成団体 全県レベルの障害者スポーツ振興を目的とする 1 団体
- ・助成額 定額補助（上限 30 千円）

### 4 障害者スポーツのすそ野拡大・育成・強化

#### (1) 兵庫県障害者スポーツフェスティバル開催支援事業

障害の有無や程度・種類に関係なく、誰もが楽しむことができる大会やイベント等の開催を支援することにより、障害者スポーツのすそ野を図った。

- ・支援対象 10 大会
- ・助成額 定額補助（上限 30 千円）

#### (2) 全国障害者スポーツ大会に向けた選手育成強化

全国障害者スポーツ大会の全競技種目について、派遣候補選手を中心とした練習会や、交流試合等の実施により、選手及びチームの技術力向上を図った。

##### ① 第 14 回全国障害者スポーツ大会派遣選手事前練習会の開催

第 14 回全国障害者スポーツ大会派遣選手を対象に、競技力の向上を図るため、各競技に精通した指導者を招き技術指導を行った。

- ・内 容 陸上・フライングディスク、水泳、卓球、サウンドテーブルテニス
- ・実施時期 平成 26 年 9 月 6 日(土)、15 日(祝・月)、10 月 19 日(日)

##### ② 団体競技種目での取組

関係競技団体・施設等を中心に、チームの編成及び選手の育成強化を依頼するとともに、その取組を支援した。

##### ア チーム編成への協力依頼

身体障害者の団体競技については、近畿地区予選派遣チームの編成を依頼している団体に協力を依頼した。

競 技 名	依頼先（予定）
車椅子バスケットボール	兵庫県車椅子バスケットボール連盟
グランドソフトボール	社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会
聴覚障害者バレーボール(男子・女子)	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
サッカー	兵庫県特別支援学校(知的)サッカー連盟
バスケットボール(男子・女子)	兵庫県立阪神昆陽特別支援学校
バレーボール(男子・女子)	兵庫県立高等特別支援学校
ソフトボール	兵庫県立高等特別支援学校

## イ 練習会の開催支援

各団体で実施する練習会及び合宿の会場使用料及びコーチ謝金を助成した。

- ・対象経費 コーチ謝金、会場使用料等
- ・助成額 上限 70 千円
- ・助成対象 9 件

## ウ 交流試合開催・参加への助成

各団体で開催または参加する他府県との交流試合等について、開催の場合には、審判謝金、会場使用料を、参加の場合については旅費を助成した。

- ・対象経費 開催時：審判謝金、会場使用料 参加時：旅費
- ・助成額 上限 60 千円
- ・助成対象 9 件

## ③ 個人競技種目での取組

「第 8 回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会」での成績を参考に選考を行い、関係団体の協力のもと、全国大会個人競技種目（陸上、水泳、卓球、フライングディスク、ボーリング、アーチェリー）について練習会を開催し、派遣候補選手の発掘及び育成強化を進めた。

- ・対象経費 コーチ謝金、審判謝金、会場使用料等
- ・助成額 上限 70 千円
- ・助成対象 9 件

## (3) 障害者スポーツ指導者養成講習会開催事業

障害者スポーツの振興に関わる指導者の養成を行い、地域に配置することで地域の障害者スポーツの振興を図った。

特に、障害者スポーツのすそ野拡大や競技力向上のための人材確保に向け、関係機関に幅広く案内した結果、社会福祉協議会職員、大学生など幅広い方面からの受講があった。

- ・研修期間 平成 27 年 1 月
- ・研修場所 県立障害者スポーツ交流館ほか
- ・修了者 28 名

## 5 障害者スポーツ振興のための普及・啓発

### (1) スポーツクラブ 21 との連携

#### ① スポーツクラブ 21 への障害者スポーツ指導員の派遣

地域におけるスポーツクラブ 21 の活動に参加する障害者を増やすために、競技団体の協力も得て、障害者スポーツの指導員を派遣し、障害者スポーツの普及・啓発、指導にあたった。

- ・平成 26 年 11 月 24 日(祝・月)加古川市立氷丘小学校 シッティングバレーボール
- ・ 〃 11 月 27 日(木) たつの市立菅田小学校 フライングディスク
- ・平成 27 年 2 月 15 日(日) 神戸市立名谷小学校  
フライングディスク、ふうせんバレーボール、  
テーブルふうせんバレーボール、ボッチャ
- ・ 〃 3 月 15 日(日) 西宮市市立甲武体育館  
フライングディスク、ローリングバレーボール、  
ボッチャ、車いす体験(ツインバスケット)

## ② スポーツクラブ 21 全県サミットにおける障害者スポーツ体験会の実施

スポーツクラブの代表者が集う全県サミットに平成 25 年度に引き続き参画し、障害者スポーツの体験会を実施した。

平成 26 年 12 月 7 日（日）兵庫県民会館

## (2) プロスポーツとの連携

第 14 回近畿地区予選会サッカー競技の開催とあわせて、関西サッカー協会、関西 J リーグ 4 チーム（ヴィッセル神戸・ガンバ大阪・セレッソ大阪・京都サンガ F. C.）ANA、朝日新聞社等の協力のもと、サッカー教室を開催、技術向上に加え、思い出作りにもつながった。

平成 26 年 5 月 31 日（土）県立三木総合防災公園球技場

## (3) 兵庫県障害者スポーツ功労賞・優秀選手賞の贈呈

障害者スポーツの振興に功労のあった者又は団体、その他広く障害者の模範となった者又は団体を表彰してその功績を顕彰した。

- ・平成 27 年 2 月 13 日（金）兵庫県公館
- ・兵庫県障害者スポーツ功労賞 1 名
- 兵庫県障害者スポーツ優秀選手賞 79 名、4 団体

## (4) 国際大会派遣選手への激励金贈呈

障害者スポーツの振興と県民に対する理解促進を図るため、国際大会に出場する選手に対し表敬訪問及び激励金の贈呈を実施した。

激励会：平成 26 年 9 月 25 日（木）

### ○ インチョン 2014 アジアパラ競技大会

開 催 日 平成 26 年 10 月 18 日（土）～24 日（金）

激励金対象者 20 名（陸上 2 名、バドミントン 1 名、7 人制サッカー 1 名、柔道 1 名、ローンボウルズ 2 名、水泳 2 名、卓球 1 名、シッティングバレーボール 6 名、車いすテニス 1 名、車椅子バスケットボール 3 名）

### ○ 2014 ホープカップ（障害者馬術国際競技会） 1 名

## (5) 全国障害者スポーツ大会派遣選手選考基準の見直し

全国大会派兵庫県派遣選手選考委員会委員を中心としたメンバーで構成する検討会議を 2 回開催、障害者スポーツのすそ野の拡大、アスリートの支援の両側面から、平成 27 年度の派遣選手選考基準を見直すこととした。

## (6) 障害者スポーツボランティアバンクの運営

県内の大学・短期大学等に、各種大会のスタッフとして活動する障害者スポーツボランティアとしての参加を積極的に呼びかけ、障害者理解の促進に取り組んだ結果、兵庫教育大学、関西国際大学、神戸国際大学、龍野北高校など多くの学生ボランティアの協力を得た。

(7) **ホームページ上での情報提供**

当協会の実施する事業に加え、県内各地の障害者スポーツ関連イベント等について広く情報を提供するため、協会ホームページを運用、大会開催の有無など協会フェイスブックを活用した。

(8) **今後の障害者スポーツ施設のあり方検討会議**

県内の障害者スポーツ推進拠点施設の現状と今後のあり方や施設整備について検討を行うため、体育施設関係者・障害者団体・競技団体等のメンバーで構成する「障害者スポーツ施設のあり方検討会議」を3回開催した。

(9) **「障害者スポーツネットひょうご」との連携**

県内の障害者スポーツ関係団体を構成員とするネットワーク組織である「障害者スポーツネットひょうご」に参画し、情報の共有、協働事業の展開等を図った。

- ・「ひょうごの障害者スポーツサイト」ホームページによる情報発信
- ・「人材バンク」の運営
- ・障害者スポーツポスター募集の連携
- ・障害者スポーツふおーらむの開催（平成28年2月8日（日）参加110人）

**6 財政基盤強化のための取組**

(1) **協賛企業の開拓**

全国車いすマラソン大会の協賛を継続して依頼するとともに、兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会でのプログラムへの広告掲載を積極的に行った。

(2) **障害者スポーツ支援自動販売機の設置**

飲料販売企業の協力を得て、売上金の一部が当協会に寄附される障害者スポーツ支援自動販売機の設置を進めるため、県立特別支援学校を訪問し、設置協力を依頼した。その結果、上野ヶ原特別支援学校、姫路しらさぎ特別支援学校、阪神特別支援学校の3か所に新たに設置することとなった。